

今回の点検内容

今回の点検では、観音山丘陵を中心に、土砂崩れの痕跡や地面のひび割れ、のり面の侵食などについて重点的に点検する他、河川の状況なども確認します。

5月20日には、荒久沢川の点検の様子を富岡市長と地元の区長が視察。点検の結果、危険性が高い箇所については、早急に対応を行います。

地元の区長さんに聞きました

乗附地区区長会長 岡田輝明さん

荒久沢川は、台風で大雨が降ると橋桁の近くまで増水してしまいます。河川内の草木は1年で大きく伸びてしまうので、毎年点検してもらえると安心です。



斜面のひび割れや湧水の有無などを点検



荒久沢川を点検する職員と防災学習を受ける子どもたち

取り組み 2

小学生に防災学習を実施

今年度は、危険箇所総点検と併せて、乗附小学校4年生を対象とした防災学習を行いました。職員が解説しながら、河床点検の見学や点検中のドローン映像の確認などを実施。定期的に傾斜地や河川を点検することの必要性を説明しました。

市長は「能登半島地震を教訓に、災害対策を進めていきます。幸いなことに市内で大きな災害は起きていませんが、油断はできません。防災学習をきっかけに、防災意識を高めて、家族で話し合ってほしいですね」と話しました。

参加した乗附小の児童は「ドローンで点検する映像を見たのは初めてです。川の点検の様子を家族にも話したいです」と話してくれました。



点検するドローンの映像を確認



職員の説明を真剣に聞く子どもたち

取り組み 3

公用車やバスを使って避難を手助け

避難が必要になった時、自力で避難することができない人は「高崎市の災害専用電話」に連絡してください。公用車やバスが迎えに行きます。本人の他、周囲の人でも手助けが必要な場合は電話してください。

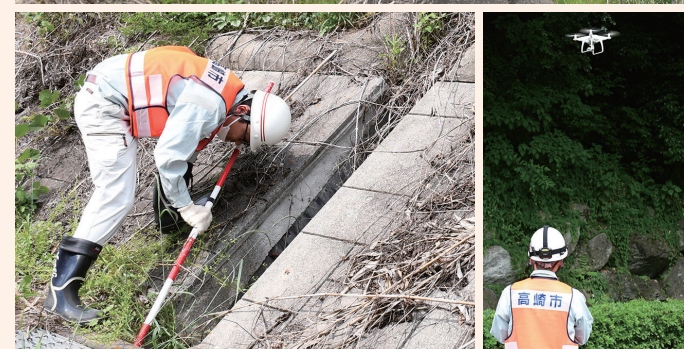
自力で避難することができない人は **高崎市の災害専用電話**

☎ 027-321-5000

危険箇所総点検などでもしもの災害に備える

市民の安心・安全を守る 市の取り組み

集中豪雨や台風による土砂崩れや道路の冠水、河川の氾濫などの災害が、全国で毎年発生しています。こうした自然災害から市民を守るため、今年も市内をくまなく点検する危険箇所総点検を実施。今年度は、市内の小学生に防災学習を実施しました。さらに、自力で避難することができない人を対象に公用車やバスを使って手助けする取り組みなども行っています。今回号では、市が行う災害に備える取り組みについてお知らせします。問い合わせは、防災安全1課（☎027-321-1352）へ。



平成26年度から実施している「危険箇所総点検」。集中豪雨や台風などに備え、あらかじめ市内をくまなく点検し、必要な対策を講じるものです。今年度は、5月20日から2か月をかけて、観音山丘陵を中心とした土砂災害の恐れがある危険箇所を重点的に点検します。

職員延べ1488人を動員し、土砂崩れの痕跡や地面のひび割れ、のり面の侵食など、約1170箇所を確認します。また、例年と同様、河川の点検も実施。点検の結果、対策が必要な箇所は、改修工事や障害物の撤去、施設管理者へ改善の要請などを行っています。

取り組み 1

危険箇所総点検